

一般社団法人 薬学教育協議会
第 40 回理事会議事録

日 時：平成 26 年 11 月 20 日（木） 14:00～16:30

場 所：日本薬学会長井記念館 1 階 A 会議室

出席者：別記 1

配付書類：別記 2

○定足数について

理事総数 20 名中、11 名の理事が出席した。定款第 37 条に定める定足数を満たしているの
で、本日の理事会は成立すると須田事務局長が報告した。なお、欠席者 9 名中 5 名は議決を
議長に委任していること、欠席者から特に意見はなかったこと、また嶋田理事（東京大学）
の代理で三浦正幸先生が出席されていることを報告した。

○報告事項

1. AASP 第 3 回薬学部長フォーラム 2014 について

資料 1（AASP 第 3 回薬学部長フォーラム 2014 報告）に基づき、6 月 28 日、29 日に慶應
義塾大学にて開催された本フォーラムについて、望月代表理事が報告した。

2. 平成 26 年度文部科学省委託事業について

本事業に関わる、アンケート調査（資料 2-1 平成 26 年度文部科学省委託事業 アンケー
ト調査の発送および回答数）および、11 月 5 日慶應義塾大学にて開催された「薬学教育実務
実習改善のための全国ワークショップ 2014」（資料 2-2 薬学教育実務実習改善のための全国
ワークショップ 2014 プログラムおよび参加者）について望月代表理事が報告した。

また本事業は、日本薬学会第 135 年会の一般シンポジウム（資料 2-3 日本薬学会第 135
年会（神戸）シンポジウム確認用紙）において報告する。

3. 第 24 回、第 25 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会について

現在は各地区の実務実習の報告にかかる時間が長く、協議や意見交換の時間が短いため、
今後は本委員会の委員に報告書を事前配付し、会議当日は協議や意見交換を中心に行うと望
月代表理事が報告した。（資料 3-1 第 24 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録、
資料 3-2 第 25 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録）

4. 薬学実務実習に関するガイドライン（案）について

文部科学省より、同省「薬学実務実習に関する連絡会議」において検討されてきた改訂モ
デル・コアカリキュラムに基づく「薬学実務実習に関するガイドライン（案）」が提示され、
意見があればメールで回答するよう求められた。各地区調整機構に意見を求めており、11 月
28 日までに同省に意見を提出する予定であると、望月代表理事が報告した。

5. 支部運営規則（案）の検討状況について

資料 5-1（支部運営規則の骨子）、資料 5-2（支部運営規則案・定款との連結）に基づき、支部運営規則案の検討状況について、須田事務局長が説明し、本案について意見を求めた。

本理事会で出された意見を基に修正し、病院・薬局実務実習中央調整機構委員会にて説明のうえ配付する。その後、各地区調整機構が協議を行った後、病院・薬局実務実習中央調整機構委員会にてさらに協議することとなった。最終的には理事会の承認を得て本規則を制定する。また、必要があれば各地区調整機構の会議に出向き説明を行いたいと須田事務局長が発言した。主に下記の意見が出された。

- ・（第 1 条） 「(以下、~~この法人~~本部という。）」とした方が良いのではないかと。
- ・（第 9 条） 「ハ 幹事」は、監事と紛らわしいので、他の表現が良いのではないかと。
「ニ 会計監事」とした方が良いのではないかと。
- ・（第 4 章） 「支部役員等の解任」について記載すべきではないかと。
- ・（第 16 条） 「(2) 事業報告及び収支決算についての事業事項」と訂正する。
- ・（第 24 条） 「(事業計画及び収支予算書)」として、事業計画について記載すべき。
- ・（第 7 章） 「文書の保持」について記載した方が良いのではないかと。

○協議事項

1. 理事会運営規則（案）について

資料 6（理事会運営規則案・定款との対比）に基づき、須田事務局長が概要を説明し協議した。協議の内容に沿って事務局が修正したものを承認とすることを決めた。主に下記の意見が出された。

- ・法令または定款と同じ内容を記載する場合は、法令等と文言を合わせた方が良い。
- ・「及び」「並びに」の使い方を確認し修正すべき。

2. 常置委員会の目的、活動について

「薬学教育協議会の理念と目的」の趣旨にしたがって設置された常置委員会（資料 7 薬学教育協議会の理念と目的、別表 P.36 委員会）に関する委員会規則を制定する予定であると望月代表理事が説明した。その前段となる活動目的案について、望月代表理事が説明し、本案は異議なく承認された。

3. 顧問、参与の委嘱について

顧問として井村伸正先生、百瀬和享先生、参与として阿部芳廣先生（慶應義塾大学）、三田智文先生（東京大学）、平塚明先生（東京薬科大学）、堀江利治先生（帝京平成大学）を望月代表理事が推薦し、異議なく承認された。

4. その他

三輪監事より、薬剤師の 2025 年問題についての発言があった。本件に関する資料は、後日理事へ配付することとした。また、「イレッサ東京高裁判決」（追加資料）と「薬事新報」（追加資料）の紹介があった。

以上、相違ありません。

平成 26 年 12 月 12 日

一般社団法人 薬学教育協議会

代表理事 望 月 正 隆

(押印済み)

監 事 三 輪 亮 寿

(押印済み)

監 事 齊 藤 勲

(押印済み)

別記 1

一般社団法人 薬学教育協議会 第 40 回理事会出席者名簿

	氏名 (敬称略)	所属	出欠
代表理事	望月 正隆	学術正会員 (東京理科大学)	○
業務執行理事・事務局長	須田 晃治	学術正会員 (明治薬科大学名誉教授)	○
業務執行理事・専務理事	富田 基郎	学術正会員 (昭和大学名誉教授)	○
業務執行理事	伊東 明彦	学術正会員 (明治薬科大学)	○
業務執行理事	伊藤 智夫	北里大学薬学部	欠
業務執行理事	増野 匡彦	学術正会員 (慶應義塾大学)	欠
理事	市川 厚	武庫川女子大学薬学部	欠
理事	乾 賢一	京都薬科大学	欠
理事	嶋田 一夫	東京大学大学院薬学系研究科	欠
	三浦 正幸	東京大学大学院薬学系研究科	代理
理事	高倉 喜信	京都大学大学院薬学研究科	○
理事	高山 廣光	千葉大学大学院薬学研究院	欠
理事	棚橋 孝雄	神戸薬科大学	○
理事	望月 眞弓	慶應義塾大学薬学部	○
理事	山元 俊憲	昭和大学薬学部	欠
理事	平嶋 尚英	国公立大学薬学部長 (科長・学長) 会議	○
理事	井上 圭三	日本私立薬科大学協会、薬学教育評価機構	○
理事	山本 信夫	公益社団法人日本薬剤師会	欠
理事	北田 光一	一般社団法人日本病院薬剤師会	○
理事	豊島 聰	(財) 日本薬剤師研修センター	○
理事	柴崎 正勝	公益社団法人日本薬学会	欠
監事	三輪 亮寿	三輪亮寿法律事務所	○
監事	齊藤 勲		○
顧問	井村 伸正	公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター	○
顧問	百瀬 和享	昭和大学名誉教授	欠

別記 2 配付資料

- 資料 1 AASP 第 3 回薬学部長フォーラム 2014 報告
- 資料 2-1 平成 26 年度文部科学省委託事業 アンケート調査の発送および回答数
- 資料 2-2 薬学教育実務実習改善のための全国ワークショップ 2014
プログラムおよび参加者
- 資料 2-3 日本薬学会第 135 年会（神戸） シンポジウム確認用紙
- 資料 3-1 第 24 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録
- 資料 3-2 第 25 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録
- 資料 4-1～4 薬学実務実習に関するガイドライン（案）
（薬学実務実習に関する連絡会議資料）
- 資料 5-1 支部運営規則の骨子
- 資料 5-2 支部運営規則案・定款との連結
- 資料 6 理事会運営規則案・定款との対比
- 資料 7 薬学教育協議会の理念と目的、別表
第 38 回理事会議事録
第 39 回理事会議事録
- 追加 日本薬剤師会発行 薬学生 NEWS
- 追加 「イレッサ東京高裁判決」「薬事新報」（三輪監事より）